

# 認知症予防カフェ inマーサ2



1 コロナ禍により、認知症予防カフェは開催できませんが・・・

「認知症予防カフェ inマーサ21」って  
“どんな場所?”という方もみえるかと思しますので、  
認知症カフェについてご説明します。

## 認知症カフェとはどんな場所

認知症カフェとは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れるカフェのことです。認知症の人とその家族だけでなく地域の住民、介護や医療の専門職など誰もが参加できる場所として気軽に話をし、相談をし合いながら交流を深められます。



## Q 何が行われているのですか？

お茶を飲んだり、レクリエーションや歌が主な目的ではありません。「認知症予防カフェ inマーサ21」では、講話を聴いたり、認知症に関する情報を得ることもできます。どのように過ごすのも自由です。

## Q 認知症の方のためだけの場所ですか？

いいえ。認知症の方だけでなく、誰でも訪れることができるところが認知症カフェの特徴です。認知症について知りたい、学びたい、考えたい、認知症になっても安心して暮らしたい。そんな地域を作る場所です。

## Q そこには誰がいますか？

認知症の本人、家族、地域の人、そして認知症の専門職がいます。「認知症予防カフェ inマーサ21」には、認知症の人と家族の会やボランティアスタッフ、認知症疾患医療センターの職員や、地域包括支援センターの職員がいます。



## Q 私の地域ではどこにありますか？

お住まいの地域包括支援センターで「認知症カフェはどこにありますか？」と聞いてください。「認知症予防カフェ inマーサ21」については再開できるように調整中です。再開するときにはまたお知らせいたしますので、その際は皆様の参加をお待ちしております。

裏面では、「認知症の人と家族の会」の“つどい(集い)”についてご説明します。



# 「認知症の人と家族の会」とは

1980年 1月…「呆け老人をかかえる家族の会」発足（本部：京都）

42年前、京都で開かれていた介護家族のつどいの中から1980年1月に会が結成され、新聞を見た人たちが岐阜から九州から東京から千葉から90人も集まって全国組織として発足しました。



1980年 4月…岐阜県支部発足

京都で発足した「家族の会」は、同じ年に7つの支部が結成され、その内の1つは岐阜県で、岐阜県支部は、最も早く出来た支部の1つです。

2004年10月…日本でADI第20回国際会議を開催。国が「認知症」とした。

ADI「国際アルツハイマー病協会」は、世界各国にあるアルツハイマー病（認知症）の会が設立した国際組織です。その国際会議が初めて日本で開催され、世界66カ国、4,000名の参加者という大きな国際会議となりました。国内外から多くの認知症の方が参加。この国際会議の後、国はこの年12月に、これまでの「痴ほう」という呼び方を「認知症」に改めました。

2010年 6月…公益社団法人「認知症の人と家族の会」となる。

## 「つどい(集い)」とは

「つどい」は、介護家族や認知症本人と  
いった当事者同士による話し合いの場です。  
当事者同士による相談の場でもあります。



そのキーワードは“共感”です。同じ境遇であれば、その辛さや悩み、不安、困った事などを本音で話せ、共感し分かり合えます。経験者によるアドバイスも受けられます。参加した方が次のような感想を言われています。

「その時の衝撃は忘れられません。誰にも分かってもらえないと思っていた苦勞がずっと分かってもらえます。気持ちが軽くなり、もう少し頑張ろうという気持ちになったのです。苦勞した者どうしがつながる事の大切さを知りました。」

認知症で困っている方がみえましたら、家族の会のつどいをご紹介ください。  
お問い合わせは、下記、家族の会岐阜県支部に！ どなたでも参加できます。

### ～お問合せ先～

岐阜市地域包括支援センター北部

TEL：058-295-4510

岐阜県認知症疾患医療センター黒野病院

TEL：058-234-7038

認知症の人と家族の会 岐阜県支部

TEL：058-214-8690

